

未来がん医療プロフェッショナル養成プラン

下記により講義を行いますので、学生、教職員の方、多数ご来聴下さい。聴講は自由です。

記

Overview of Cancer Biology Anatomy and Pathology

「がんの生物学・解剖学・病理学」

5月20日(月)	胸腹部ならびに骨盤部癌の臨床解剖	本学大学院医歯学総合研究科	秋田 先生
5月21日(火)	癌の異型度と悪性度	本学大学院医歯学総合研究科	小林 先生
5月22日(水)	癌の化学療法における病理診断の役割	本学医学部附属病院	明石 先生
5月23日(木)	早期癌と進行癌	本学大学院医歯学総合研究科	山本 先生
5月24日(金)	癌の発生部位と多様性	本学大学院医歯学総合研究科	沢辺 先生
5月27日(月)	がん細胞の生化学的特徴	本学大学院医歯学総合研究科	畑 先生
5月28日(火)	がん細胞と細胞周期	本学大学院医歯学総合研究科	高木 先生
5月29日(水)	遺伝性がん	本学大学院医歯学総合研究科	島田 先生
5月30日(木)	がん細胞の特性	国立がん研究センター研究所	荒川 先生
5月31日(金)	がん遺伝子とがん抑制遺伝子	本学大学院医歯学総合研究科	秋山 先生

1 時限: 18:30-19:50 質疑応答 19:50-20:00

M&D タワー11F 大学院講義室3

【概 要】

- ・発がんの分子機構の理解に重要ながん遺伝子とがん抑制遺伝子の種類および機能的役割について説明する。さらに、これらの遺伝子のヒトがんにおける異常や検出法、発がん物質・分化・血管新生などとの関連について解説する。また、がんの増殖・悪性化における血管新生の意義、分化誘導療法の有用性についても述べる。
- ・生命の基本単位である細胞について、正常細胞とがん細胞の違いを重点に解説する。また、細胞の運命(増殖、分化、細胞死、形質転換、遺伝形質)に関して、細胞周期、DNA 損傷応答・修復も含め、最新の知見にも言及する。
- ・医療における病理診断の実例を題材として、癌の良性悪性、浸潤や転移がどのように観察され、診断されているのかを解説する。また一口に癌と言っても悪性度は様々であり、それによって治療方針なども異なるので、病理の立場からその情報が臨床の現場でどのように生かされているのかを解説する。
- ・わが国は癌の早期診断が進歩しており、諸外国に比べ早期癌の診断・治療の機会が多いので、実例を示しながらその診断と治療について解説する。
- ・化学療法や放射線治療によって癌の病巣はどのように変化するのかについて解説し、さらに各臓器に発生する癌の姿はどのように異なるのかについて、その発生母地の違いの観点から解説する。さらに解剖学的観点から、癌治療ならびに癌の転移の理解に必要な、脈管系を中心とした解剖学について解説する。

科目担当責任教員: 本学大学院医歯学総合研究科 三宅 智 先生

【問い合わせ先 統合教育機構学務企画課大学院教務第一係 ☎4676】